

群馬県の財政状況



平成30年10月
群馬県総務部財政課



日本で最初の官営器械製糸工場【富岡製糸場】





目次

Section1. 県の概要、経済の状況 2

群馬県の人口と強い経済	3
群馬県の恵まれた自然条件	4
東北～九州、太平洋～日本海を結ぶ交通の結節点	5
群馬県に受け継がれてきた産業技術の発展	6
群馬県の産業構造	7
恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上	8
群馬県の魅力あふれる観光資源	9
群馬のトリビア	10

Section2. 財政状況と行政改革の取り組み 12

平成30年度群馬県当初予算	13
平成30年度一般会計当初予算（歳入）	14
平成30年度一般会計当初予算（歳出・性質別）	15
普通会計の決算収支	16
普通会計決算（歳入）の推移	17
県税決算の推移（普通会計）	18
普通会計決算（歳出・性質別）の推移	19
公債費及び投資的経費の推移	20
県債新規発行額と残高の推移	21
行政改革の取り組み	22

Section3. 主な財政指標の状況 23

財政健全化法に基づく財政指標の推移	24
将来負担比率と実質公債費比率（平成29年度決算）	25
財政指標の推移	26
プライマリーバランスの推移（決算ベース）	27

Section4. 公営企業・地方公社等について 28

公営企業会計の決算状況	29
地方三公社の決算状況（住宅供給公社）	30
出資法人の状況	31

Section5. 市場公募債発行計画 32

平成30年度市場公募債発行計画	33
群馬県の起債運営について	34
お問い合わせ先	35

Section 1.

県の概要、経済の状況

- 人口規模は約200万人で中堅クラス。発達した交通網、安定した気候と災害への安心感、長い歴史で築かれた基盤技術などで、工場立地件数は全国トップクラス
- 本州のほぼ中央、首都東京から約100kmに位置しており、アクセスの便が良い
- 多彩で多様な農業が展開され、「首都圏の台所」と呼ばれる
- 温泉、自然、歴史遺産といった魅力あふれる観光資源が人々を惹きつける



群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」

プロフィール
誕生日： 2月22日（魚座）
年齢： 7歳
モチーフ： ポニー

ゆるキャラグランプリ2014 第1位



【尾瀬国立公園】

国民的愛唱歌「夏の思い出」で全国に名を知られる国立公園です。





群馬県の人口と強い経済

- 工場立地件数は常に全国トップクラスであり、強い経済が特徴

恵まれた立地環境、利便性の高さ、災害への安心感から、多くの企業が群馬県に進出しています。

工場立地件数 ➡ 63件

全国 第2位

(平成29年)

	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
1位	兵庫県 56	北海道 75	茨城県 147	茨城県 237	茨城県 84	静岡県 74	静岡県 95
2位	愛知県 43	静岡県 73	群馬県 128	群馬県 150	兵庫県 73	愛知県 67	群馬県 63
3位	静岡県 37	群馬県 70	北海道 109	栃木県 138	群馬県 57	群馬県 56	兵庫県 63
4位	埼玉県 36	兵庫県 68	福岡県 96	静岡県 117	静岡県 55	兵庫県 56	茨城県 51
5位	岐阜県 36	栃木県 61	栃木県 78	福岡県 100	愛知県 52	宮城県 48	愛知県 46
8位	群馬県 33						

※H27年から太陽光発電施設が調査から除外されている。

人口 ➡ 196.0万人

全国 第18位

(平成29年10月1日)

生産年齢人口比率

➡ 58.7%

全国 第15位

(平成29年10月1日)

30年後 (H57) の推計人口

➡ 1,553千人 (減少率21.3%)

減少率が低い方から **全国 第18位**

(平成30年3月推計)

有効求人倍率 ➡ 1.79

全国 第10位

(平成30年8月)

1人当たり県民所得

➡ 3,145千円

全国 第8位

(平成27年度)

年間製造品出荷額等

➡ 8兆6,993億円

全国 第13位

(平成28年)

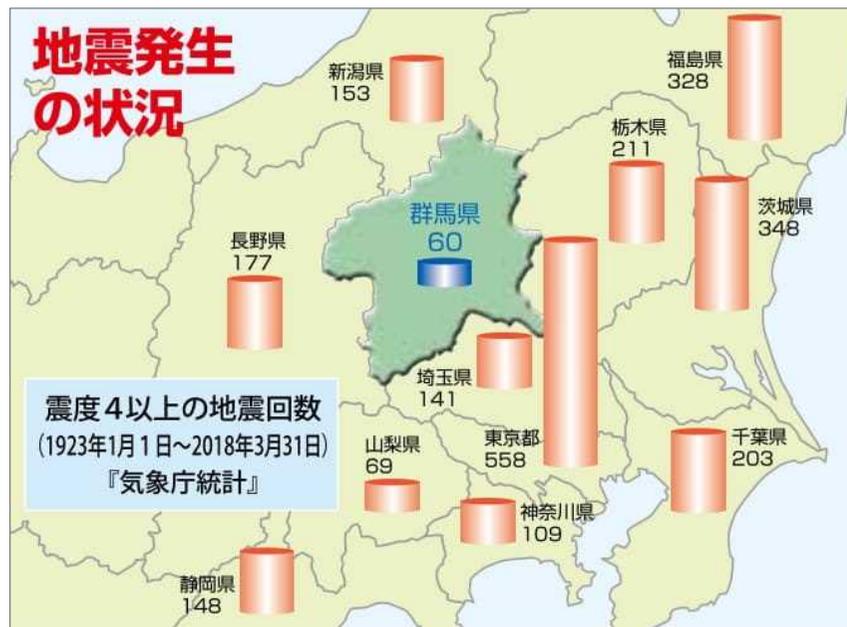


群馬県の恵まれた自然条件

- 関東一、地震が少ない県であり、地震災害のリスクが非常に低い
- 年間快晴日数、日照時間が全国で上位に位置するなど恵まれた気象条件を有し、自然災害が少ない

地震災害のリスク

- 群馬県は、地震や水害などの自然災害が比較的少なく、工場や物流拠点施設をはじめとする様々な産業施設の立地に有利な条件を備えています。



恵まれた日照時間

- 群馬県は、年間の快晴日数が全国第2位、日照時間の長さが全国第6位と上位に位置しています。降雪量も平野部では比較的少なく、恵まれた気象条件を有しています。

出典：総務省統計局刊行「統計でみる都道府県のすがた2018」

快晴日数(年間) 全国2位

- 1位 埼玉県
- 2位 群馬県
- 3位 静岡県



(出典) 気象庁ホームページ



東北～九州、太平洋～日本海を結ぶ交通の結節点

- 本州のほぼ中央、首都東京から約100kmに位置しており、アクセスが良いのが群馬県の魅力



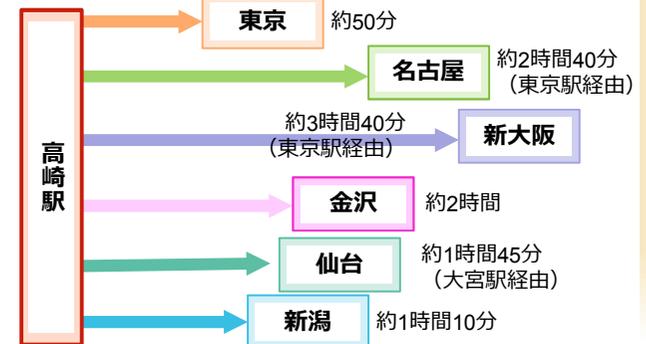
- 関越、上信越、北関東、東北自動車道により、東日本と西日本、太平洋側と日本海側を結ぶ高速交通網が整備されています。

高速道路利用



- 上越新幹線と北陸新幹線が走っており、鉄道交通の結節点である高崎駅を中心に各方面へのアクセスが便利です。

新幹線利用





群馬県に受け継がれてきた産業技術の発展

- 豊富な資源と地域性から成り立つ伝統ある技術の、現在に至るまでの継承と発展

受け継がれる製造業の系譜

- 利根川の存在や交通網の結節点という優良な地域条件を背景に、各所の技術や人材が集中し製造業が発展
- また、生糸産業に欠かせない機織機が、精密機器として群馬県内で独自に開発されるなど、技術の精密化も発展
- さらに、豊富な電力を確保できる環境が、中島飛行機（現SUBARU）をはじめとする日本代表企業を創出
- その後、中島飛行機を含め、軍需工業が発達。戦後はそれらの技術を転用し、輸送機器・業務用機器などの製造業が台頭
- 時代を超えて受け継がれる技術が、現在の「SUBARU」や「サンデン」の基盤となって表れている



地理的優位性と技術の蓄積による産業の集積



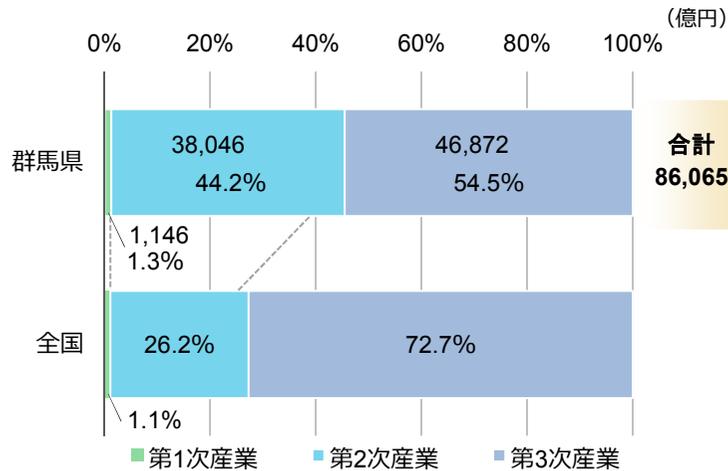
輸送機器	1 SUBARU	3 ミツバ	5 カルソニックカンセイ
	2 日野自動車	4 日本発条	6 ポッシュ
化学	7 信越化学工業	8 協和発酵キリン	9 関東電化工業
食料品	10 山崎製パン	12 ブルドックソース	14 ダノンジャパン
	11 森永製菓	13 ハーゲンダッツ	15 日本ケロッグ
業務用機器	16 キヤノン電子	17 サンデン	
飲料・飼料	18 明治	19 サッポロビール	20 サントリー



群馬県の産業構造

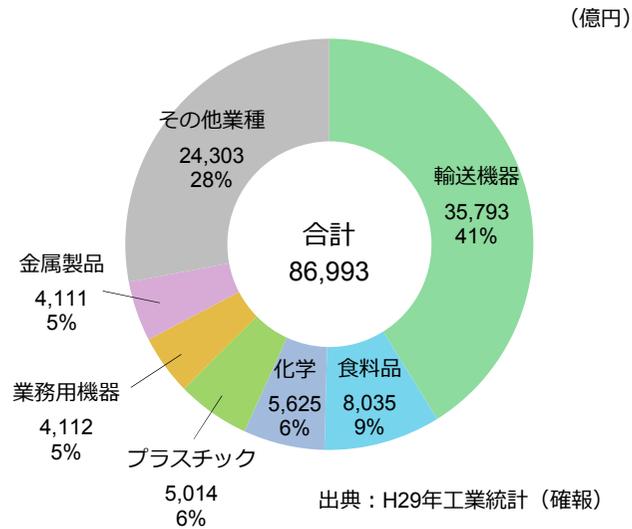
- 発達した交通網、安定した気候、自然災害の少なさ、長い歴史で築かれた基盤技術などで、ものづくり産業が発展
- 豊富な水資源や首都圏に位置するなど有利な立地条件を活かし、「首都圏の台所」として、多彩で多様な農業が展開

産業別名目県内（国内）総生産



出典：群馬県県民経済計算（H27年度確報）
及び内閣府国民経済計算（H27年度確報）

製造品出荷額等



出典：H29年工業統計（確報）

主な県内立地企業

業種	企業名
輸送機器	SUBARU
	日野自動車
	ミツバ
	日本発条
	カルソニックカンセイ
食料品	ボッシュ
	山崎製パン
	森永製菓
	ブルドックソース
	ハーゲンダッツ
化学	ダノンジャパン
	日本ケロッグ
	信越化学工業
業務用機器	協和発酵キリン
	キヤノン電子
飲料・飼料	サンデン
	明治
	サッポロビール
	サントリー

農業生産量全国順位（平成28年）

順位	品目	生産量 (占有率)
1位	こんにゃくいも	69,500 t (97%)
	キャベツ	260,400 t (18%)
	きゅうり	51,900 t (9%)
2位	えだまめ	6,330 t (10%)
	ふき	1,340 t (12%)
	うめ	4,730 t (5%)
3位	ほうれんそう	20,800 t (8%)
	なす	23,500 t (8%)
	レタス	50,400 t (9%)
	はくさい	28,500 t (3%)
	生乳	255,197 t (3%)

出典：H28年農林水産統計

製造品出荷額等全国1位の製品

製品	出荷額
プラスチック（信越化学工業、モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン など）	1,653億円
乗用車ボデー（東亜工業、エイチワン など）	759億円
清涼飲料（カルピス、明治など）	539億円
豆腐（相模屋食料、日本ビーンズ など）	253億円
床板（パナソニックソリューションズ内装建材、オリエント など）	212億円

出典：H29年工業統計（確報）

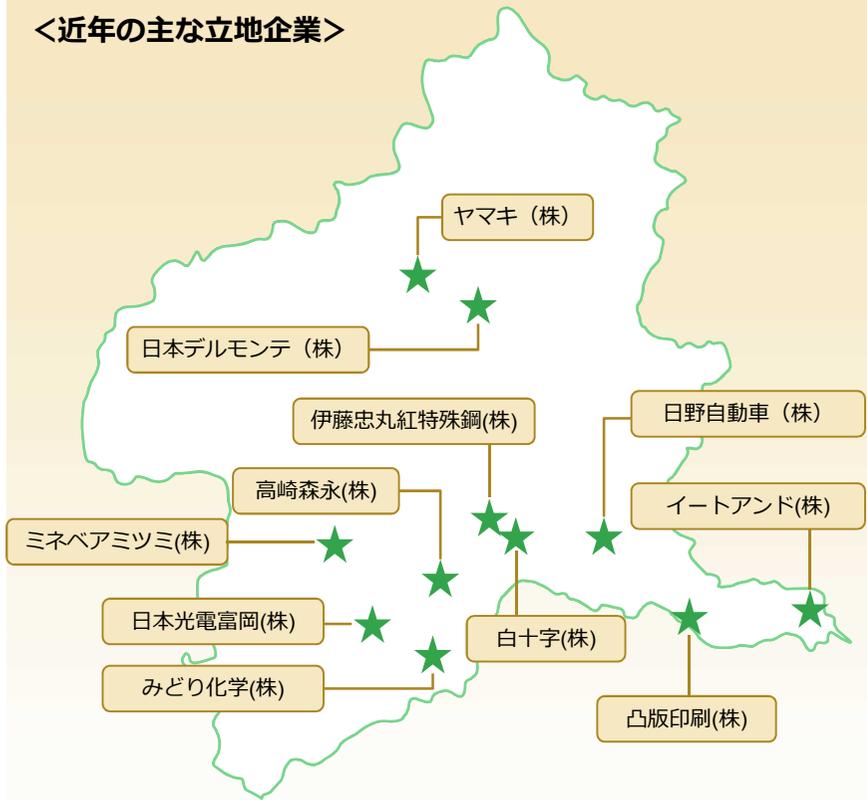




恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上

企業立地（民間企業から選ばれる群馬県）

<近年の主な立地企業>



- 「事業継続体制」を意識した民間企業の立地が加速
- 民間企業に選ばれる理由
「災害リスクの低さ」、「東京圏との同時被災の回避」、
「東西南北への良好なアクセス」、「東京圏との距離」など
- データセンター、物流のバックアップ拠点として貢献

Gメッセ群馬（群馬コンベンションセンター）の整備



完成イメージ



- 高崎駅東口から約1 kmに位置する旧高崎競馬場の跡地の有効な活用策として、コンベンション施設の整備を計画
- コンベンションの開催により交流人口の増加や大きな経済効果がもたらされる。人口減少社会が進む中、「中長期的に県経済を牽引する社会インフラ」となる
- 2020年春の開所を目指す

群馬県コンベンション施設整備基本計画（改訂版）

- 施設規模：多目的展示施設 10,000㎡、会議施設 3,500㎡
- 概算事業費：約280億円
- 想定年間来場者数：約96万人
- 想定運営収支：収入 約5億円、支出 約4億円
- 経済効果：年間約128億円



群馬県の魅力あふれる観光資源

■ 温泉、自然、歴史遺産といった魅力あふれる豊富な観光資源が人々を惹きつける

人気が高い群馬県ブランドの温泉

- 群馬県の温泉は泉質も施設も種類が豊富です
- 全国的にも人気が高く、群馬県の観光の目玉として抜群の集客力を誇り、大きな経済効果をもたらしています

第31回にっぽんの温泉100選

総合ランキング（抜粋）

総合順位	温泉地名	所在地
1	草津	群馬県
2	下呂	岐阜県
3	別府八湯	大分県
4	指宿	鹿児島県
5	有馬	兵庫県
15	伊香保	群馬県
25	万座	群馬県
30	みなかみ18湯	群馬県
40	四万	群馬県

出典：（株）観光経済新聞社

みんなで選ぶ 第10回温泉大賞

温泉番付 東（抜粋）

総合順位	温泉地名	所在地
横綱	草津	群馬県
大関	箱根	神奈川県
関脇	登別	北海道
小结	伊香保	群馬県
前頭	万座	群馬県
前頭	四万	群馬県
前頭	水上	群馬県

出典：BIGLOBEによるサイト上でのWebアンケート調査（アンケート期間は2017年12月14日～2018年2月5日）



草津温泉



伊香保温泉



水上温泉

群馬県の自然

- 群馬県は山林が県土の約3分の2を占め、豊かな自然にあふれています
- 県内では川、滝、湖沼、湧水など、さまざまな水の形に出会うことができます。山々は古く『万葉集』にも詠みこまれ、深田久弥著の『日本百名山』では県内から11の山が選ばれています
- また、日本を代表する美しい風景と貴重な生態系を有する尾瀬は、全域が国立公園の特別地域であり、その核心部は特別保護地区として、国の特別天然記念物に指定されています



尾瀬



赤城山



左：わたらせ渓谷鐵道
右：妙義山



群馬県の歴史遺産

- 富岡製糸場は、明治5（1872）年に日本初の官営器械製糸工場として設立されました。平成26年に、世界遺産に登録されるとともに、国宝にもなりました
- 古墳時代、ヤマト政権の東国支配の拠点として繁栄していた上毛野。群馬県には1万基以上の古墳があるといわれており、古墳の数は全国で有数。太田市「天神山古墳」は、全長210mで、東日本で最大の前方後円墳



富岡製糸場



天神山古墳



群馬のトリビア①

■ 日本一・世界一

県立つつじが岡公園	樹齢800年を超えるヤマツツジをはじめ約1万株のツツジが美しく咲き誇る名勝。アメリカのツツジ・シャクナゲ協会会長デビット・リーチ氏が「世界一」と賞賛。
利根川	みなかみ町の大水上山（おおみなかみやま）を源流とし流域面積約16,840km ² で日本一。
ぐんま昆虫の森	敷地面積が45haで体験型昆虫施設としては日本最大。
草津温泉	「日本三名泉」「日本三大薬湯」。自噴湧出量が毎分32,300ℓで日本一。
宝川温泉の露天風呂	4つの露天風呂の面積は合計約470畳（約235坪）で日本一の大きさ。
草津温泉西の河原露天風呂	面積が約150坪（500m ² ）で単独の露天風呂の大きさを日本最大級。
こんにやく	こんにやくいもの作付面積と収穫量は、群馬県が全国の90%以上で日本一。
夏秋キャベツ	嬭恋村を中心に栽培が盛んで、日本一の収穫量。
繭と生糸	群馬県は繭の生産量、生糸の生産量、養蚕農家戸数が日本一。
鮎	1年で世代交代する鮎。県水産試験場で生産している養殖鮎は、平成27年で46回世代交代を行っており、日本一。
荒船風穴（史跡荒船・東谷風穴蚕種貯蔵所跡）	下仁田町にあり、明治38年から大正にかけて建設された天然の冷風を利用した蚕種（カイコの卵）貯蔵施設で、貯蔵能力は種紙110万枚で日本一。
（株）群馬県食肉卸売市場	（株）群馬県食肉卸売市場は小動物（豚）のと畜許可頭数が1日当たり3,000頭で、日本一。また、EUへの輸出が許可された施設としては日本初。
アイスクリーム出荷額	アイスクリームの出荷額は日本一（平成26年工業統計調査）。
コーヒー飲料出荷額	コーヒー飲料の出荷額は日本一（平成26年工業統計調査）。
清涼飲料水出荷額	清涼飲料水の出荷額は日本一（平成26年工業統計調査）。
空洞コンクリートブロック出荷額	空洞コンクリートブロックの出荷額は日本一（平成26年工業統計調査）。
小型ステープラー	マックス（株）が生産する小型ステープラーは国内でのシェア75%。
ヤマダ電機	家電量販店として年間売上高日本一。店舗数でも家電量販店トップ。
高崎だるま	高崎だるまは年間約90万個を製造で日本一。
創作こけし	創作こけしのシェアは日本一。
埴輪	国宝・重要文化財に指定されている埴輪53件のうち、群馬県出土の物は19件あり、日本一の数。
史跡上野国分寺七重塔	国分寺の塔として日本最大級の推定高60.5mの七重塔が建てられていた。
天神山古墳	太田市にある「天神山古墳」は、全長が210mで東日本で最大の前方後円墳。
土合駅	ホームと駅舎の間に日本一の階段数の486段の階段がある「日本一のモグラ駅」。
利根川・江戸川サイクリングロード	全長約170km。川沿いでは日本一長いサイクリングロードで、群馬県はその出発点。
メロディーライン設置数	県内には10カ所設置されており、日本一の数。
上毛かるた	累計で約145万組発行、郷土かるたの中で日本一。
フランソワ・ポンポン所蔵数	館林美術館が所蔵する「フランソワ・ポンポン」の作品・資料コレクションの数は全101点で、日本一。
高崎市内の山車数	高崎市内にある山車の保有数は38台（江戸型）で、日本一の数。

■ 概要 ■ 自然 ■ 温泉 ■ 食 ■ 農業 ■ 産業 ■ 歴史 ■ 文化 ■ 風土

ぐんま天文台	公開天文台における夜間観望会参加者数は国内トップ。
県立赤城ふれあいの森木製ローラーすべり台	全長380mで木製ローラーすべり台としては日本一の長さ。
緑の少年団の団員数	平成26年現在、61,646名で日本一の数。また、県内の全小学校に緑の少年団が設置されているのは群馬県だけ。
公営電気事業者の発電所数	群馬県企業局には、発電所が36カ所（水力32、火力1、風力1、太陽光2）あり、公営電気事業者（地方公共団体が経営する電気事業者）として日本一の数で、供給電力量も日本一。
自動車保有台数	人口に対する自動車の保有台数は日本一。
免許保有率	人口に対する自動車運転免許を保有している割合が日本一。
下久保ダム	堤体の長さが605mで、重力式コンクリートダムの中で日本一の長さ。
丸沼ダム	高さが32.1mで、コンクリートパットレスダムの中で日本一の高さ。

■ 日本初・世界初

尾瀬	「ごみ持ち帰り運動」が尾瀬で初めて行われた。
赤谷プロジェクト	生物多様性の復元と持続的な地域づくりのため、地域住民で組織する赤谷プロジェクト地域協議会、林野庁関東森林管理局、日本自然保護協会の3者が協働して、国有林を管理する日本初の取り組み。
伊香保温泉	温泉まんじゅう発祥の地。また、伊香保温泉の石段（365段）は、金比羅宮（香川県1,368段）、立石寺（山寺）（山形県1,015段）と並び「日本三大石段」。
ヤマメの人工ふ化	昭和32年に、嬭恋村の養魚家が、日本で初めてヤマメの人工授精・ふ化に成功。
森喜作	桐生出身の農学博士「森喜作」氏が、昭和17年に純粋培養菌種純化法（種菌栽培）を開発し、世界で初めてしいたけの人工栽培に成功。
富岡製糸場	日本初の本格的な模範製糸工場として操業。世界遺産。また、産業遺産としては、国内初の国宝。
新町紡績所	日本で最初に官営で操業した肩糸紡績工場。
中小坂鉄山	下仁田町にあった鉄山で、江戸時代から製鉄が行われ、明治7年に民間資本で操業を開始した後、明治11年から17年までの間、日本初の官営の鉄山となった。
わくわく自販機ミュージアム	日本自動販売機工業会が日本で初めて開設した自動販売機をPRする常設施設。
恐竜の足跡	神流町の連登（さぎなみいわ）の化石にあるくぼみが、研究者によって、日本で初めて恐竜の化石に認定された。
岩宿遺跡	日本で最初に発見された旧石器時代の遺跡。
碓氷峠	信越本線の横川～軽井沢間は、最大66.7パーミル、標高差553mの急勾配のため、レールの間に歯車のレールを敷設し、歯車を機関車の歯車と噛みあわせて運行する「アプト式」により明治26年に開通。明治45年には国有鉄道幹線では最初に電化された。平成9年の長野新幹線開通を機に廃線。
群馬交響楽団	昭和20年創設の「高崎市民オーケストラ」を前身とし、「群馬フィルハーモニーオーケストラ」と改称後、昭和22年にプロとなり、昭和38年に群馬交響楽団と改称された。昭和30年に群響がモデルの映画「ここに泉あり」が公開されて注目を集めた。また、県内の小中学生にオーケストラの演奏を身近に感じる機会として開催されている移動音楽教室は、昭和22年から始まり、延べ600万人以上の児童・生徒が鑑賞している。
上泉伊勢守信綱	剣術の新陰流を創始したほか、袋竹刀を発明。
中学生まで医療費無料	所得制限や自己負担なく、中学校卒業まで医療費が無料となる制度を、全国に先駆けて平成21年10月から群馬県が実施。





群馬のトリビア②

■ 日本最古

磯部温泉	古地図に日本最古の温泉マークがしるされた「温泉記号発祥の地」。
四方温泉	国民保養温泉地第一号に指定。「積善館」は現存する日本最古の湯宿。
神津牧場	明治20年（1887）、日本で最初の洋式の牧場として開設。
上野三碑 (山上碑、多胡碑、金井沢碑)	山上碑は完全な形で現存する石碑としては日本最古。金井沢碑は「群馬」という文字が使われた県内最古の例。多胡碑は日本三古碑。平成27年9月、世界記憶遺産の国内候補として決定。
デキ1 デキ3	営業線を走る日本最古の電気機関車。
安政の遠足	江戸時代、安中藩主が藩士の鍛錬のため徒歩競争させた。これが日本のマラソンの発祥とされる。

■ 日本で唯一

上野村のシオジ林	上野村橋原にあるシオジの原生林は、シオジ林としては日本で唯一、天然記念物に指定されている。
アザレアコレクション	くまフラワーパークの「アザレアコレクション」は、世界的にも貴重なコレクションとして評価されている。
ウクレレ	前橋市の三ツ葉楽器(株)は、国内で唯一ウクレレを量産。
ダノンジャパン(株)館林工場	館林市にある「ダノンジャパン(株)館林工場」は、国内で唯一同社の製品を製造する工場。
日本ケロッグ(合同)高崎工場	高崎市にある「日本ケロッグ(合同)高崎工場」は、国内で唯一同社の製品を製造する工場。
重粒子線がん治療施設	総合病院に併設された重粒子線治療施設は群馬大学医学部附属病院（前橋市）のみ。
(株)SUBARU (スバル)	「群馬製作所」では「SUBARU」ブランドで自動車を生産。世界でも数少ない「水平対向エンジン」を搭載し、群馬から日本国内、さらに全世界へ輸出。
ヤマト発動機(株)	太田市の「ヤマト発動機(株)」は、ボートレース用のモーター（エンジン）とボートを国内で唯一生産。
「はやぶさ」の回収カプセル	富岡市の宇宙関連機器の総合メーカー「(株)HIEアロスペース富岡事業所」は、小惑星探査機「はやぶさ」、「はやぶさ2」の回収カプセルを設計・開発。
AED	富岡市にある医療用電子機器メーカー「日本光電工業(株)富岡工場」は、AED（自動体外式除細動器）を国内で唯一製造。
自然史博物館	日本で唯一カマラサウルスの実物の全身骨格を展示。プラキオサウルスの全身骨格復元模型の展示や、トリケラトプスの実物骨格を展示しているボーンベッドも、日本で唯一。また、館内のブナ林のジオラマは高さ日本一のほか、日本に数点しかないターウィンの手紙を日本で初めて公開。
県道9号線	渡良瀬遊水地の西側を走る主要地方道9号佐野古河線は、群馬、栃木、埼玉、茨城4つの県をまたぐ日本で唯一の県道。
上三原田歌舞伎舞台	渋川市にあり、ガンドウ機構（三方の板壁を外側に倒して舞台面を2倍以上の広さにする）、遠見機構（舞台の奥に遠見と呼ぶ背景をつけ、奥行きを深く見せる）、柱立廻式廻転機構（平舞台いっぱいの回転部を回転させる）、セリヒキ機構（二重と呼ぶ小舞台を天井・奈落の双方からせり上げ、せり下ろす）という全国に例のない4つの機構があり、その操作技術とともに国の重要有形民俗文化財に指定されている。
ゲルニカ（タピスリー）	県立近代美術館が所蔵するゲルニカ（タピスリー）は、ピカソ本人が監修し、3点のみ制作された貴重な美術品。日本では同館のみが所蔵。

■ 概要 ■ 自然 ■ 温泉 ■ 食 ■ 農業 ■ 産業 ■ 歴史 ■ 文化 ■ 風土

■ 日本三大・世界三大

妙義山	耶馬溪（大分県）、寒霞溪（かんかけい）（香川県）と並び、「日本三大奇勝」。「日本近代登山の父」ウォルター・ウェストンが妙義の山岳ガイド根本清蔵に登山技術を教えたことから「近代登山発祥の地」ともいわれる。
谷川岳	日本百名山で、剱岳（富山県）、穂高岳（長野県・岐阜県）と並んで「日本三大岩場」。
川中温泉	美肌効果があると言われ、龍神温泉（和歌山県）、湯の川温泉（島根県）とともに、「日本三大美人の湯」。
太田焼きそば	横手やきそば（秋田県）、富士宮やきそば（静岡県）とともに「日本三大焼きそば」。
水沢うどん	稲庭うどん（秋田県）、讃岐うどん（香川県）と並んで「日本三大うどん」。
伊勢崎市境島村地区	世界遺産「田島弥平旧宅」がある伊勢崎市境島村地区は、かつて福島県信達地方、長野県上田地方とともに「日本三大蚕種製造地帯」といわれ、蚕種の生産が盛んだった。
貫前神社	531年創建と伝えられ、927年の『延喜式』の神名帳に掲載されている由緒ある神社。総門よりも社殿が低いところにある「下り宮」で、鶴戸神宮（宮崎県）、草部吉見神社（熊本県）と並んで「三下り宮」。
曹源寺のさざえ堂	太田市にあり、会津さざえ堂（福島県会津若松市）、平等山成身院百体観音堂（埼玉県本庄市）とともに、「三大さざえ堂」。（さざえ堂とは、螺旋状の回廊を有する特異な建築物で、江戸時代に各地で建設された）
碓氷関所	安中市にある旧中山道の関所。箱根関所（神奈川県）、新居関所（静岡県）とともに「日本三大関所」。なお「日本四大関所」の場合は、三大関所に福島関所（長野県）が加わる。
関孝和	円周率や球の体積の計算方法を考え出し、ニュートン、ライプニッツと並ぶ世界三大数学者。
土師の辻	藤岡市の土師神社にあり、石川県の羽咋神社、大阪府の住吉神社とともに「日本三辻」。（相撲辻とは屋外で行った相撲の土俵のこと）
船津伝次平	幕末から明治にかけて活躍した農業指導者で、奈良県の中村直三、香川県の奈良専三とともに「日本三老農」。群馬をはじめ我が国の農業技術改良や普及に尽力した。
高山彦九郎	高山彦九郎は、江戸時代後期の尊皇思想家で、林子平・蒲生君平とともに「寛政の三奇人」。幕末の尊皇運動に大きな影響を与えた。

■ 貴重・希少

沼田の河岸段丘	利根川、片品川、薄根川が沼田盆地を浸食して形成され、6段もの段丘が形成されており、高校の教科書の河岸段丘を説明するページには必ずといっていいほど写真が掲載されている。
チャツボミゴケ	硫黄泉や硫化金属鉱山付近の流水中や湿岩に生育するコケで、北海道から九州にかけて分布。中之条町六合地区の元山にあるチャツボミゴケ公園は、鉄鉱石の露天掘り跡に強酸性の湯が湧出し、チャツボミゴケが群生している。広範囲に生育しているのは珍しい。
満徳寺	太田市にあり、江戸時代中頃に江戸幕府の公認を受けた、世界に二つしかない縁切寺の一つ。もう一つは鎌倉の東慶寺。「駆け込み寺」とも呼ばれ、江戸時代、離婚を求めて駆け込んだ妻を救済し、夫との離婚を達成させてくれた尼寺。
平坦地にある3県境	東武日光線柳生駅の近くには群馬、栃木、埼玉の3県の県境が平地の水田内にある珍しい地点がある。



Section 2.

財政状況と行政改革の取り組み

- 昭和32年以降、61年間連続で黒字決算となり、安定した財政運営を実施
- 県債残高は、実質的な地方交付税である臨時財政対策債が増加しているが、その他の県債は着実に減少
- 人口千人当たりの職員数（一般行政部門）は、少ない方から数えて全国2位の2.02人



【草津温泉】

自噴する温泉としては、日本で一番の湧出量を誇ります。街の中心にある湯畑は草津のシンボルとなっています。





平成30年度群馬県当初予算

基本方針

- 平成30年度は、総合計画、総合戦略の3年目であり、3つの基本目標「地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり」、「誰もが安全で安心できる暮らしづくり」、「恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上・社会基盤づくり」の実現に向け、施策を着実に推進
- 厳しい財政状況にあっても、人づくりや社会基盤づくりなど、未来への投資を着実に進め、群馬らしさを活かした豊かな社会の実現に向けた『ぐんまの未来創生予算Ⅱ』を編成

当初予算の3つの柱

① 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

② 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

③ 産業活力の向上・社会基盤づくり

特徴的な施策

ぐんま少人数クラスプロジェクト 【予算額：12.9億円】



- 児童生徒の基礎学力の向上を目指すため、県独自の少人数学習編制を継続実施するとともに、県独自に英語の専科教員（県内10人）を配置。
 - さくらプラン 小学校1・2年 30人学級
小学校3・4年 35人学級
 - わかばプラン 中学校1年 35人学級

子ども医療費の無料化 【予算額：39.9億円】



- 通院・入院ともに、中学校卒業までの医療費を無料化（自己負担分を県と市町村で全額補助）
- 所得制限及び受診時の窓口負担なし
- H21.10月から県内全市町村で実施

交流・移住・定住の促進 【予算額：115.0億円】



- 新たな人の流れを生み出し、県内産業のさらなる発展や若者・女性の雇用を創出するため、コンベンション施設「Gメッセ群馬」整備を推進
- 首都圏等の大学生のU・Iターン就職を支援する「Gターン全力応援」や、移住相談等の窓口となる「ぐんま暮らし支援センター（有楽町）」などにより、本県への移住・定住を促進



平成30年度一般会計当初予算（歳入）

- 県税は、自動車関連産業を中心とした企業業績の改善や給与所得の増加が見込まれることから130億円の増。
- 国の地方財政対策により、地方交付税は91億円の増、臨時財政対策債は4億円の増。
- 県債は、減収補てん債の計上がないことなどから142億円の減。

区分	H30年度 当初予算額（億円）	H29年度 当初予算額（億円）	前年度比 （%）
県税	2,480	2,350	105.5
地方消費税清算金	770	735	104.7
地方譲与税	346	339	102.1
地方交付税	1,241	1,150	107.9
国庫支出金	802	839	95.7
県債	1,043	1,185	88.1
臨時財政対策債	464	460	100.9
減収補てん債	0	156	皆減
その他の県債	579	569	101.8
基金等繰入金	207	233	88.8
その他	441	415	106.1
合計	7,330	7,246	101.2
内訳			
自主財源	3,878	3,715	104.4
依存財源	3,452	3,531	97.8

※ 臨時財政対策債は、地方交付税の不足を補うものとして国から地方団体に発行額が割り当てられ、償還費は後年度の地方交付税に加算される地方債（借入）で、実質的な地方交付税とされているものです。また、減収補てん債は、県税収入の減に見合った地方交付税の増額が見込めないことから、その代替としてH29年度当初予算で計上したものです（後年度、償還費の75%が地方交付税で措置）

※ 依存財源は地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、国庫支出金及び県債です

※ 自主財源は依存財源以外の財源です



平成30年度一般会計当初予算（歳出・性質別）

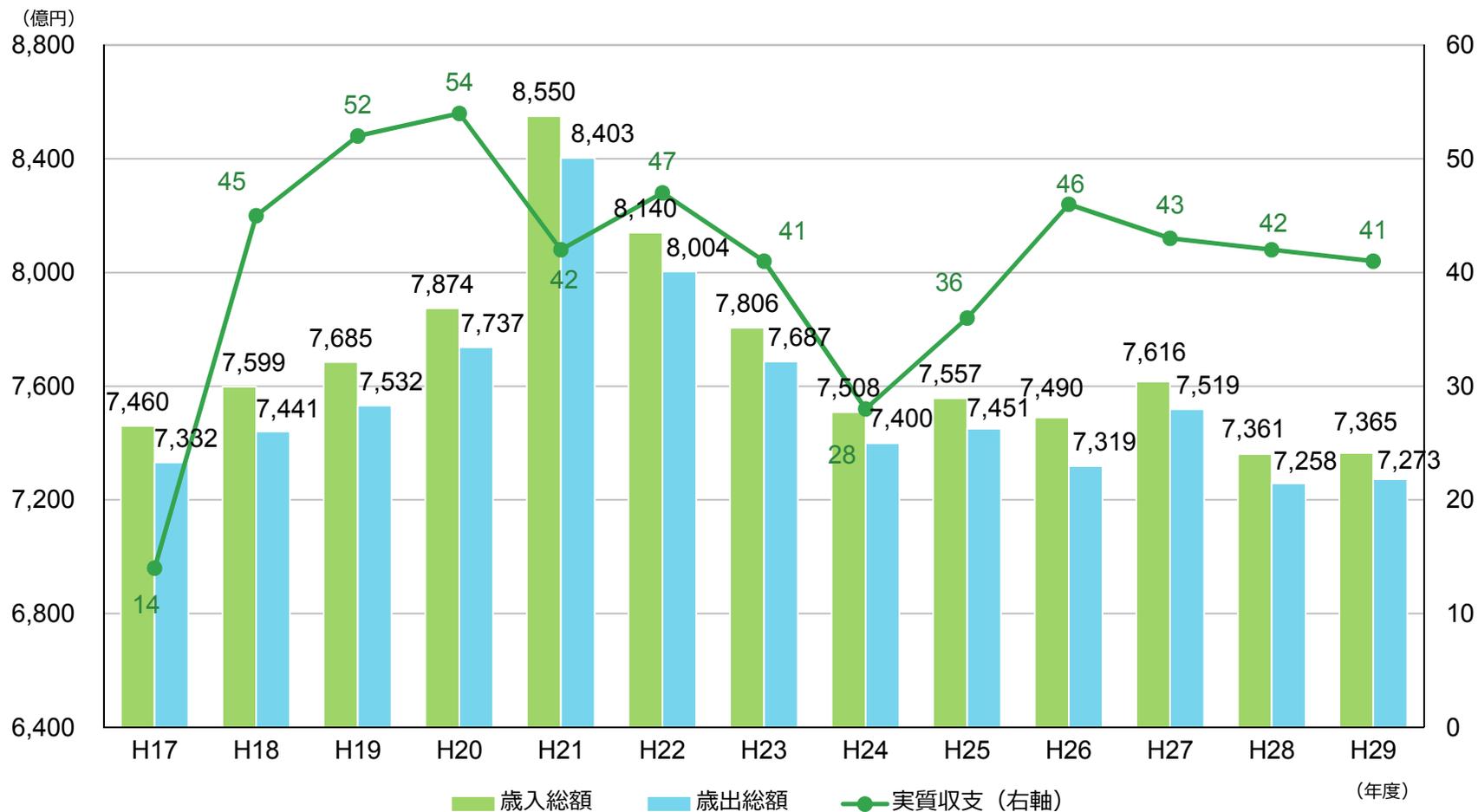
- H30年度当初予算規模は、前年度対比1.2%の増
- 「ぐんまの未来創生予算Ⅱ」として、人づくりや社会基盤づくりなど、未来への投資を着実に進め、群馬らしさを活かした豊かな社会の実現に向けた施策に取り組む

区分	H30年度 当初予算額（億円）	H29年度 当初予算額（億円）	前年度比 （%）
義務的経費	3,586	3,634	98.7
人件費	2,211	2,253	98.2
退職手当	207	216	95.8
退職手当除き	2,004	2,037	98.4
扶助費	322	319	100.8
公債費	1,053	1,062	99.1
投資的経費	1,111	1,066	104.2
補助公共事業	231	235	98.3
単独公共事業	550	588	93.4
その他の建設事業	330	242	136.3
補助費等	2,044	2,049	99.8
その他	589	497	118.5
合計	7,330	7,246	101.2
うち社会保障関係費	998	972	102.7



普通会計の決算収支

- 昭和32年度以降、61年間連続で黒字決算となり、安定した財政運営を実施
- H29年度は、歳入では減収補てん債の発行、歳出では社会保障関係経費や学校整備などの普通建設事業費の増加などにより、歳入歳出とも前年度を上回った。実質収支は41億円の黒字

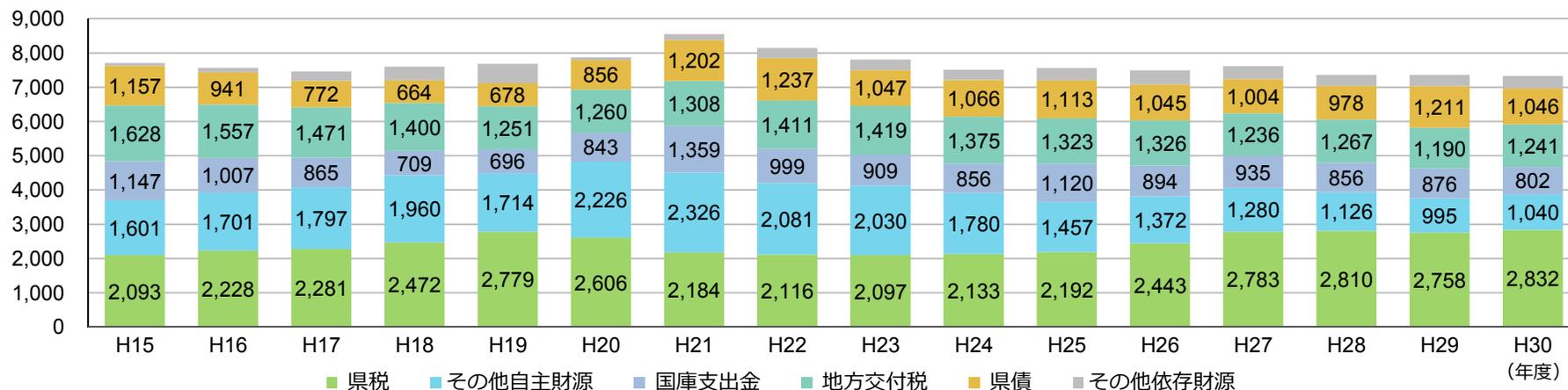




普通会計決算（歳入）の推移

- H30年度の県税収入は、自動車関連産業を中心とした企業業績の改善や給与所得の増加が見込まれることから、2,800億円程度を確保
- 県債は、減収補てん債の計上がないことなどから減額

(億円)



歳入決算額	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
歳入総額	7,705	7,571	7,460	7,599	7,685	7,874	8,550	8,140	7,806	7,508	7,557	7,490	7,616	7,361	7,361	7,365	7,328
自主財源	3,694	3,929	4,078	4,432	4,493	4,832	4,509	4,197	4,127	3,913	3,650	3,815	4,063	3,936	3,936	3,754	3,873
県税	2,093	2,228	2,281	2,472	2,779	2,606	2,184	2,116	2,097	2,133	2,192	2,443	2,783	2,810	2,810	2,758	2,832
其他自主財源	1,601	1,701	1,797	1,960	1,714	2,226	2,326	2,081	2,030	1,780	1,457	1,372	1,280	1,126	1,126	995	1,040
依存財源	4,011	3,642	3,382	3,167	3,192	3,042	4,041	3,943	3,679	3,596	3,907	3,675	3,553	3,425	3,425	3,611	3,455
国庫支出金	1,147	1,007	865	709	696	843	1,359	999	909	856	1,120	894	935	856	856	876	802
地方交付税	1,628	1,557	1,471	1,400	1,251	1,260	1,308	1,411	1,419	1,375	1,323	1,326	1,236	1,267	1,267	1,190	1,241
県債	1,157	941	772	664	678	856	1,202	1,237	1,047	1,066	1,113	1,045	1,004	978	978	1,211	1,046
(臨財債)	466	332	255	229	207	252	510	803	637	640	665	607	457	457	395	460	460
(其他)	691	609	517	435	471	604	692	434	410	426	448	438	547	521	583	751	586
其他依存財源	79	138	274	393	566	83	173	296	304	299	350	409	377	324	324	334	365

※県税は、地方消費税を清算後の額

※H29年度まで決算ベース、H30年度は当初予算ベース

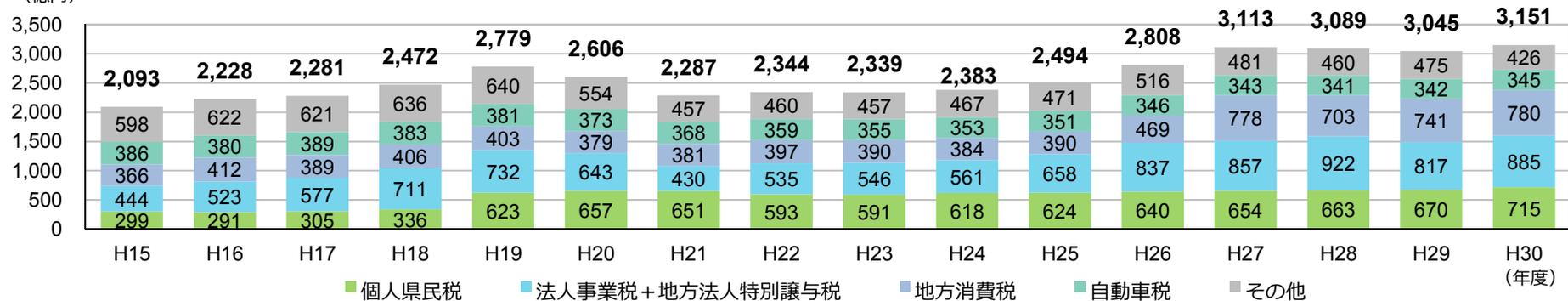




県税決算の推移（普通会計）

- 主な税目は、個人県民税、法人事業税、地方消費税、自動車税など
- 法人事業税が景気の影響を受けることが、主な増減要因

(億円)



歳入決算額	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
県民税	437	455	466	520	820	811	759	719	716	747	776	851	835	816	830	836
個人	299	291	305	336	623	657	651	593	591	618	624	640	654	663	670	715
法人	100	115	117	140	146	123	81	100	103	107	101	157	129	126	111	115
利子割	37	50	44	44	51	32	27	26	23	22	52	54	52	27	49	6
事業税	464	543	597	731	752	662	345	323	319	326	372	489	546	662	549	586
個人	19	20	20	20	20	20	18	16	15	15	16	17	19	19	19	20
法人	444	523	577	711	732	643	327	307	304	311	356	472	527	643	530	566
地方消費税	366	412	389	406	403	379	381	397	390	384	390	469	778	703	741	780
不動産取得税	71	64	73	70	74	70	58	48	50	47	51	60	50	57	56	53
自動車取得税	94	92	91	92	85	73	46	38	32	42	37	17	27	29	38	38
軽油引取税	211	218	214	208	201	175	154	175	172	172	174	172	167	166	169	162
自動車税	386	380	389	383	381	373	368	359	355	353	351	346	343	341	342	345
その他	64	64	62	62	63	63	73	57	63	62	41	39	37	36	33	32
合計	2,093	2,228	2,281	2,472	2,779	2,606	2,184	2,116	2,097	2,133	2,192	2,443	2,783	2,810	2,758	2,832
地方法人特別譲与税	-	-	-	-	-	-	103	228	242	250	302	365	330	279	287	319
法人事業税+地方法人特別	444	523	577	711	732	643	430	535	546	561	658	837	857	922	817	885

※地方消費税は清算後の額

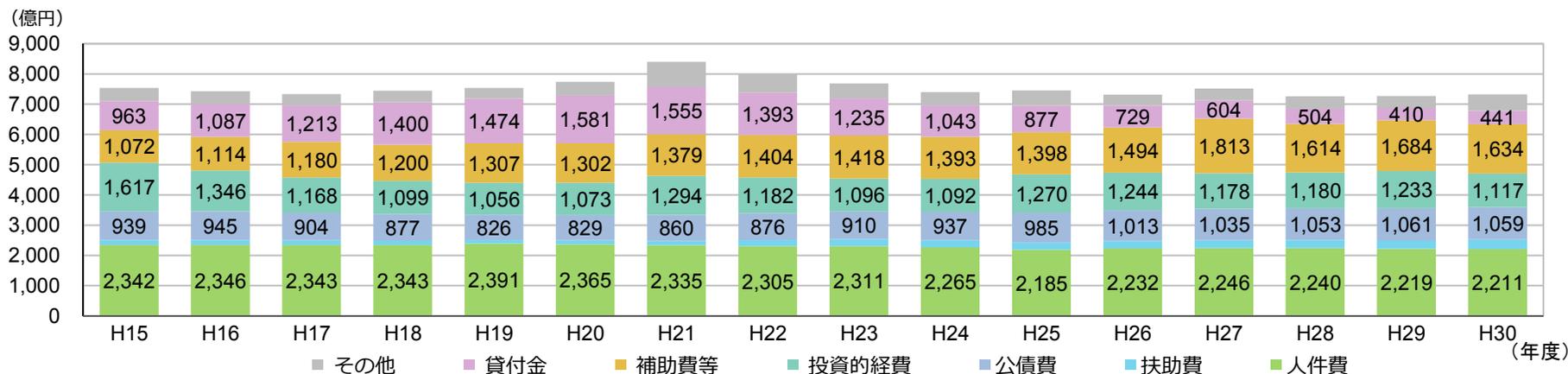
※H29年度まで決算ベース、H30年度は当初予算ベース





普通会計決算（歳出・性質別）の推移

- 義務的経費は、H29年度（3,555億円）と比較し、H30当初予算では37億円増加（うち人件費は8億円縮減。扶助費は47億円増加。公債費は2億円減少）
- 投資的経費は、ピーク時のH7年度決算（2,788億円）と比較し、H30当初予算では約4割となる1,117億円に縮減



歳出決算額	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
歳出総額	7,533	7,426	7,332	7,441	7,532	7,737	8,403	8,004	7,687	7,400	7,451	7,319	7,519	7,258	7,273	7,328
義務的経費	3,452	3,458	3,407	3,366	3,348	3,332	3,341	3,397	3,448	3,438	3,410	3,494	3,539	3,561	3,555	3,592
人件費	2,342	2,346	2,343	2,343	2,391	2,365	2,335	2,305	2,311	2,265	2,185	2,232	2,246	2,240	2,219	2,211
(うち職員給)	1,742	1,750	1,762	1,763	1,764	1,759	1,707	1,663	1,648	1,635	1,570	1,633	1,632	1,626	1,620	1,597
扶助費	171	167	160	145	130	138	146	217	227	236	240	249	258	268	275	322
公債費	939	945	904	877	826	829	860	876	910	937	985	1,013	1,035	1,053	1,061	1,059
投資的経費	1,617	1,346	1,168	1,099	1,056	1,073	1,294	1,182	1,096	1,092	1,270	1,244	1,178	1,180	1,233	1,117
普通建設事業	1,592	1,340	1,161	1,093	1,027	1,045	1,285	1,180	1,084	1,077	1,263	1,231	1,168	1,171	1,223	1,083
災害復旧事業	25	5	7	6	29	28	10	2	12	15	7	12	10	9	10	34
補助費等	1,072	1,114	1,180	1,200	1,307	1,302	1,379	1,404	1,418	1,393	1,398	1,494	1,813	1,614	1,684	1,634
貸付金	963	1,087	1,213	1,400	1,474	1,581	1,555	1,393	1,235	1,043	877	729	604	504	410	441
その他	429	422	364	376	347	449	833	627	489	434	496	358	385	399	391	544

※H29年度まで決算ベース、H30年度は当初予算ベース

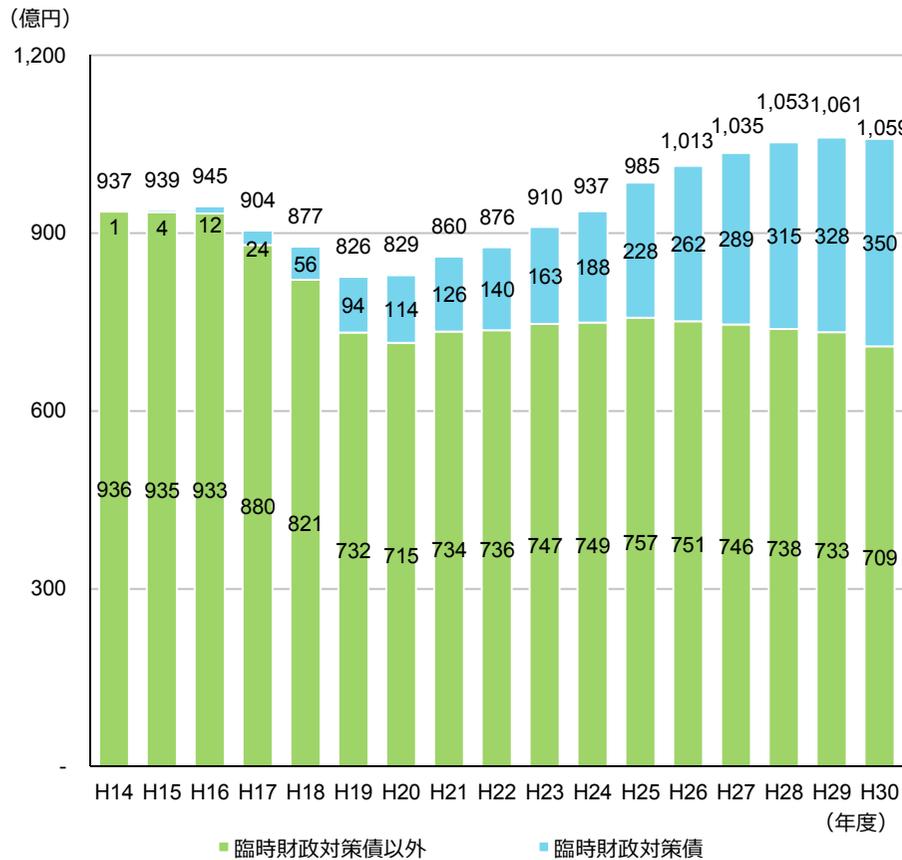




公債費及び投資的経費の推移

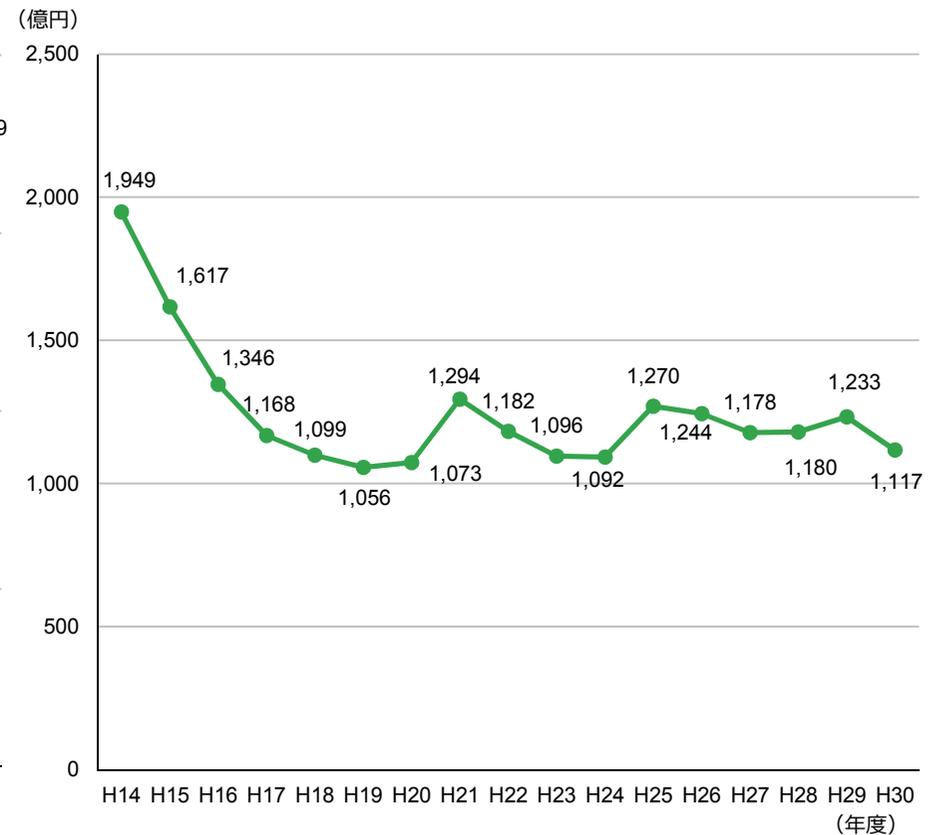
公債費

- 臨時財政対策債の償還費が増加する中、超長期債の発行によって償還年限を多様化するなど、戦略的な公債管理を行い、公債費の抑制に向けた取組を実施



投資的経費

- 公共事業等の投資的経費は大幅に減少



※H29年度まで決算ベース、H30年度は当初予算ベース

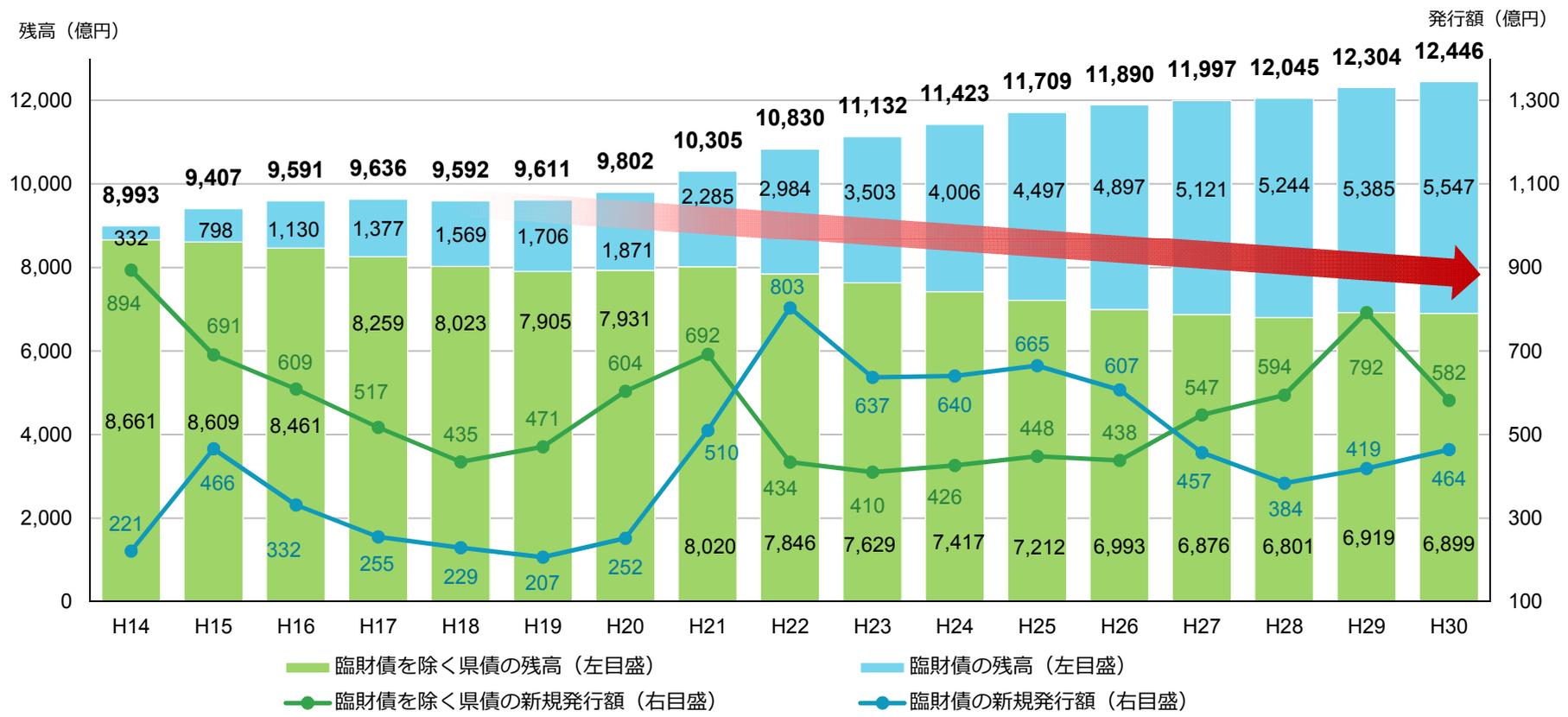




県債新規発行額と残高の推移

- 実質的な地方交付税である臨時財政対策債の発行により、県債残高は増加
- 臨時財政対策債を除く県債残高は、H14年度をピークに減少
(H20、21、29年度は、景気低迷に伴う県税の減少に対応して減収補てん債を発行した影響により、残高が増加)

普通会計ベース



※H29年度まで決算ベース、H30年度は当初予算ベース





行政改革の取り組み

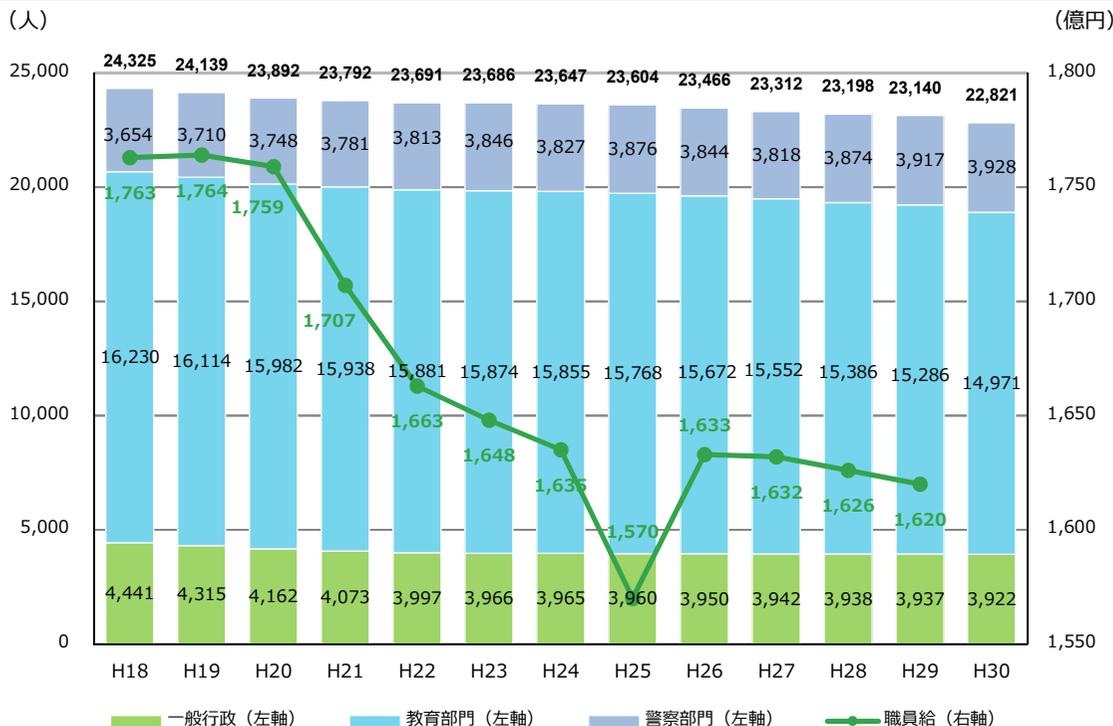
- 人口減少と少子化・高齢化が進む社会において、新たな行政施策にしっかりと対応できる体制をつくるため、「群馬県行政改革大綱」(H29～H31年度)に基づき改革を推進(H29年度の計画実施率 98.3%)

群馬県の人口千人当たりの職員数

一般行政部門職員 2.02人 (少ない方から数えて全国2位)

※東京都及び政令指定都市のある15道府県を除く (平成30年4月1日現在)

定員削減実績と職員給の推移 (普通会計)



「行政改革大綱 (H29～H31)」の主な成果

- 適正な定員管理**
 - 一般行政部門 ▲16人
 - 教育部門 ▲415人
- 自主財源収入確保**
 - 県有施設命名権売却、自動販売機設置収入等
 - 自主財源収入額 23.8億円
- 未利用財産の売却**
 - 売却額 11.1億円
- 収入未済額圧縮**
 - 圧縮額 5.4億円 (県税+税外収入)
- 内部管理事務の効率化**
 - 入札での使用電力調達
 - 電気料金3.8億円削減



Section 3.

主な財政指標の状況

- 財政健全化法に基づく各指標は、財政の健全性を維持
- 特に実質公債費比率と将来負担比率は、共に良好な水準を維持しており、市場公募発行団体（都道府県）中でも上位の位置付け



【吹割の滝】

片品川の上流、沼田市の老神温泉から4kmほど離れたところにある滝。幅30m、高さ7m、東洋のナイアガラと呼ばれ、大自然の不思議を満喫できます。国指定天然記念物です。





財政健全化法に基づく財政指標の推移

- 各指標ともに、財政の健全性において良好な水準を維持

各指標の算定結果

	H27年度	H28年度	H29年度	早期健全化 基準
I. 実質赤字比率	該当なし (黒字0.97%)	該当なし (黒字0.94%)	該当なし (黒字0.91%)	3.75%
II. 連結実質赤字比率	該当なし (黒字16.89%)	該当なし (黒字17.41%)	該当なし (黒字17.25%)	8.75%
III. 実質公債費比率	12.1%	11.7%	11.5%	25%
全国順位	第14位	第17位	第20位	
全国平均	12.7%	11.9%	11.4%	
IV. 将来負担比率	155.2%	160.2%	159.4%	400%
全国順位	第12位	第13位	第13位	
全国平均	175.6%	173.4%	173.1%	

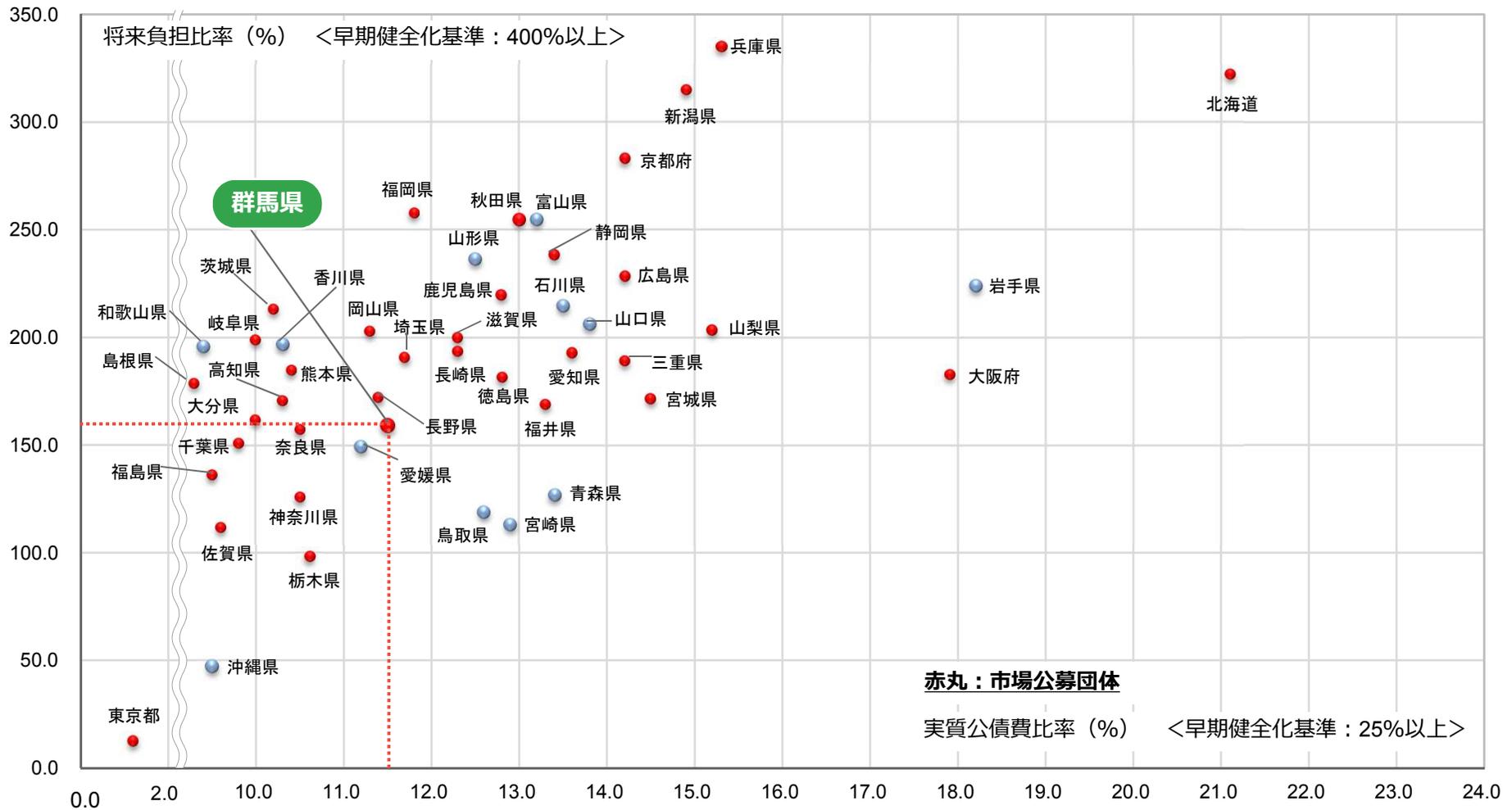
将来負担額の算定結果

項目	金額 (億円)	算定内容
①地方債の現在高	12,784	満期一括償還分を含む地方債の残高
②債務負担行為に基づく支出予定額	67	土地改良事業負担金等
③公営企業の企業債償還への負担見込	212	流域下水道等
④組合等の借入償還に係る負担見込額	該当なし	
⑤退職手当の支給予定額	1,971	H29年度末に全職員が退職した場合の支給予定額
⑥設立法人の負債等に係る負担見込額	9	
群馬県住宅供給公社	2	
群馬県信用保証協会	7	
A 将来負担額計 (①～⑥の計)	15,044	
B 充当可能基金	624	減債基金、財調基金等
C 充当可能特定財源	153	公営住宅使用料等
D 交付税算入見込額	8,227	
分子 A - (B+C+D)	6,041	



将来負担比率と実質公債費比率（平成29年度決算）

■ 現在及び将来に対する財政健全度は、市場公募発行団体（都道府県）中でも上位の位置付け

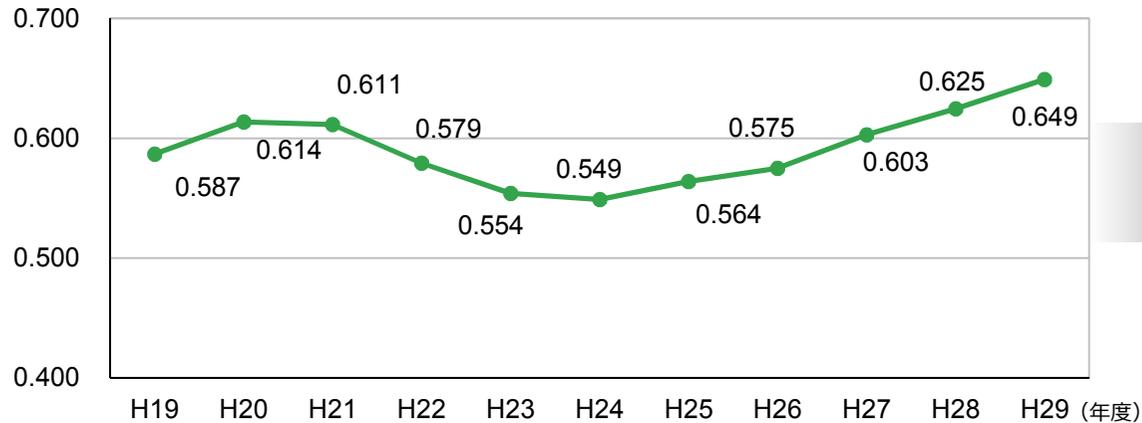




財政指標の推移

財政力指数

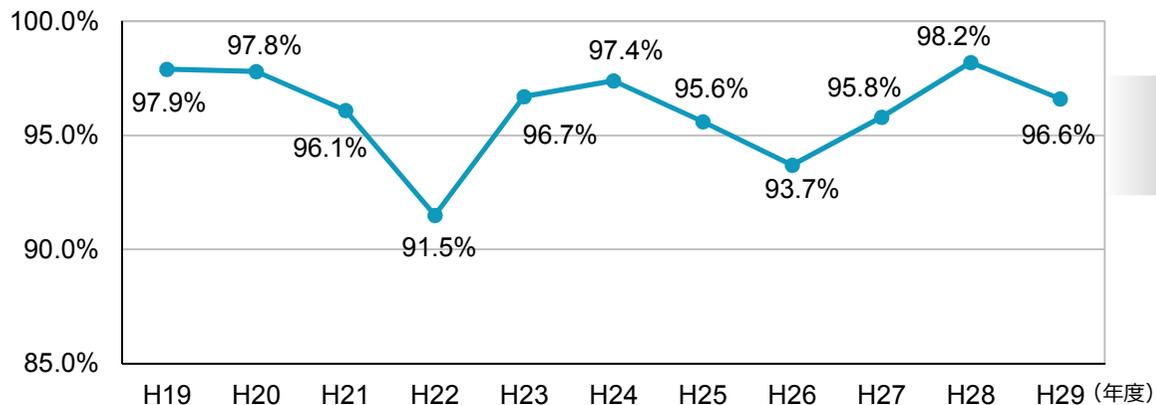
- 財政運営の自主性の大きさを示す指数で、財政運営に必要となる一般財源のうち、自前で調達できる県税がどれくらい確保できるかという割合を理論的に求めたもの。



財政力指数
0.649
全国平均 H29 0.516

経常収支比率

- 「財政構造の弾力性」を判断するための指標で、地方税や地方交付税など経常的に収入される一般財源のうち、人件費や公債費などの経常的に支出する経費に充当された額の割合。



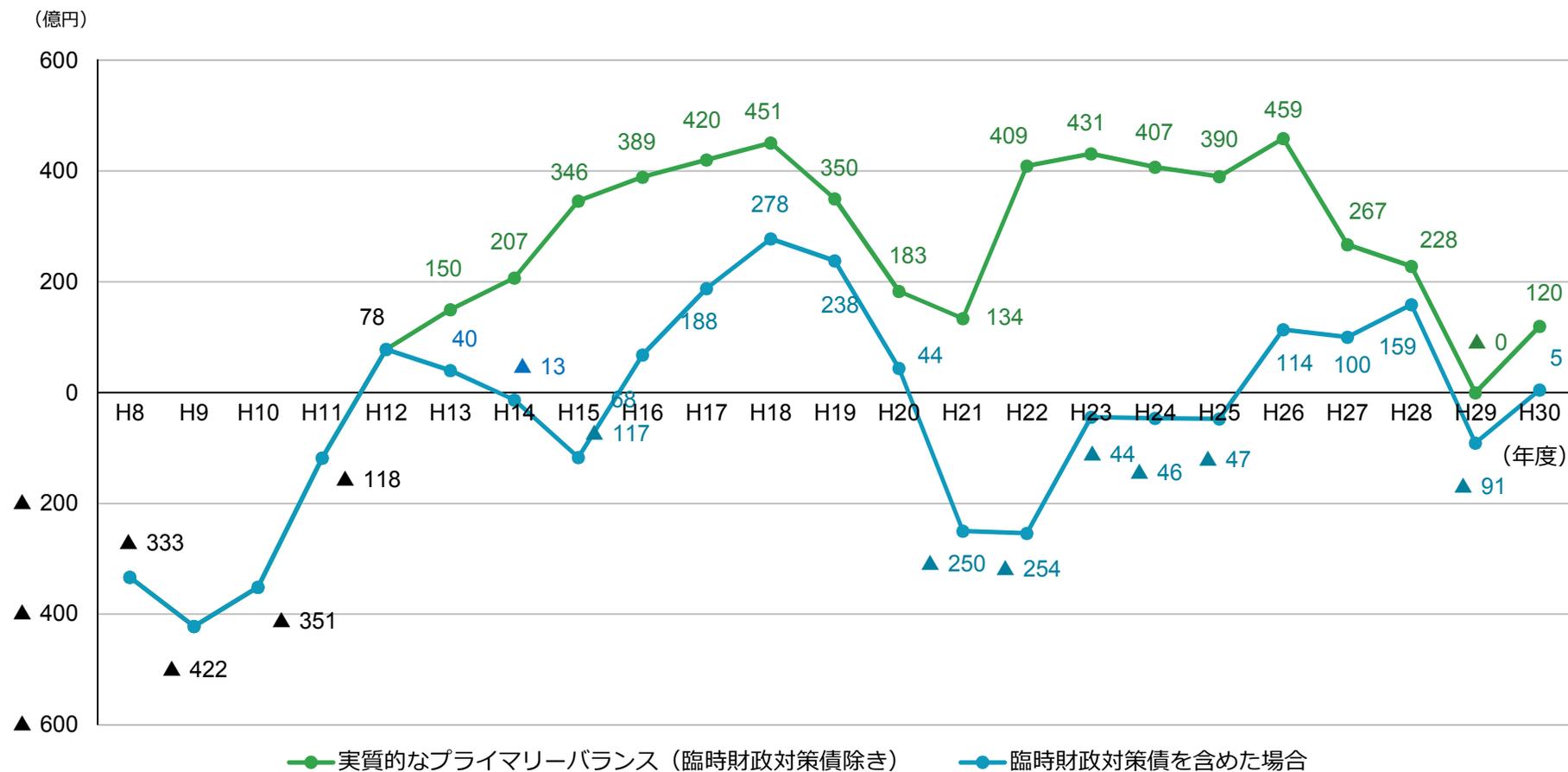
経常収支比率
96.6%
全国平均 H29 94.2%



プライマリーバランスの推移（決算ベース）

- 実質的なプライマリーバランス（臨時財政対策債除き）は、減収補てん債を198億円発行したこと等により、H11年度以来の赤字（▲0.1億円）。なお、H30年度は黒字を見込む。
- 引き続き将来世代に対する負担に配慮した財政運営を実施

一般会計ベース



※H29年度まで決算ベース、H30年度は当初予算ベース



Section 4.

公営企業・地方公社等について

- 平成29年度決算の公営企業会計全体の純損益は、4,762百万円の黒字
- すべての公営企業会計で資金不足はなく、財政健全化法に基づく経営健全化基準値（▲20%）をクリア
- 地方三公社（住宅供給公社、土地開発公社、道路公社）のうち「群馬県住宅供給公社」のみ存在。住宅供給公社の主な業務は、県営住宅管理業務であり、安定した経営



【ぐんま県境稜線トレイル】

群馬と新潟・長野の県境に位置し、稜線の長さでは国内最長（約100km）のロングトレイルとなり、新たな観光誘客の目玉として期待されています。





公営企業会計の決算状況

- H29年度決算では公営企業会計合計で純利益4,762百万円を計上
- 全ての会計で資金不足はなく、財政健全化法に基づく経営健全化基準値（▲20%）をクリア
- 病院事業は、前年度に比べ医業収益が減少したことなどから、純損失462百万円となった。H30年度からスタートした第四次県立病院改革プランに基づき、計画期間中の黒字化を目指す

(百万円)

区分	電気	工業用水道	水道	団地造成	駐車場	施設管理	病院	合計	
損益計算書	営業収益 (A)	7,286	1,666	6,206	4,749	114	833	21,894	42,748
	営業費用 (B)	5,742	1,404	4,296	3,799	145	670	27,268	43,324
	営業損益 (C=A-B)	1,544	262	1,910	950	▲ 31	163	▲ 5,374	▲ 576
	営業外収益 (D)	122	292	493	10	35	5	5,452	6,409
	営業外費用 (E)	72	159	400	14	4	1	686	1,336
	経常損益 (F=C+D-E)	1,594	395	2,003	946	0	167	▲ 608	4,497
	特別利益 (G)	60	8	231	60	0	0	150	509
	特別損失 (H)	0	0	229	11	0	0	4	244
	純損益 (I=F+G-H)	1,654	403	2,005	995	0	167	▲ 462	4,762
貸借対照表	資産の部	70,086	20,131	85,889	31,857	2,522	9,047	37,589	257,121
	固定資産	36,101	18,981	67,131	6,260	2,453	8,082	28,478	167,486
	流動資産	33,985	1,150	18,758	25,597	69	965	9,111	89,635
	負債の部	7,762	12,973	33,523	4,109	658	1,885	33,911	94,821
	固定負債	4,589	7,812	15,774	1,947	19	1,589	22,370	54,100
	流動負債	1,731	996	3,907	2,162	70	293	6,657	15,816
	繰延収益	1,442	4,165	13,842	0	569	3	4,884	24,905
	資本の部	62,324	7,158	52,366	27,748	1,864	7,162	3,678	162,300
	資本金等	55,418	3,816	40,584	24,959	1,864	5,349	10,434	142,424
剰余金	6,906	3,342	11,782	2,789	0	1,813	▲ 6,756	19,876	
財政健全化法上の資金不足額(資金収支)	32,505	933	16,387	16,272	19	815	5,444	72,375	



地方三公社の決算状況（住宅供給公社）

- 本県では、地方三公社（住宅供給公社、土地開発公社、道路公社）のうち「群馬県住宅供給公社」のみ存在（土地開発公社は平成21年8月末で解散、道路公社はもともと設置していない）
- 群馬県住宅供給公社の主な業務は、県営住宅管理業務（維持管理、家賃収納業務を県から受託）であり、安定した経営を行っている

貸借対照表

(百万円)

区分		H27年度	H28年度	H29年度
資産	流動資産	1,552	1,751	1,823
	固定資産	7,059	6,791	6,501
	繰延資産	—	—	—
	資産合計	8,611	8,542	8,324
負債	流動負債	1,930	1,939	1,668
	固定負債	3,325	3,182	3,148
	特別法上の引当金等	—	—	—
	負債合計	5,255	5,121	4,816
資本	資本金	40	40	40
	剰余金	2,502	2,517	2,553
	法定準備金	814	864	914
	資本合計	3,356	3,421	3,507
負債・資本合計		8,611	8,542	8,324

損益計算書

(百万円)

区分		H27年度	H28年度	H29年度
経常損益	営業収益 (a)	2,849	2,920	3,012
	営業費用 (b)	2,741	2,775	2,859
	一般管理費 (c)	97	87	69
	営業利益 (d=a-b-c)	12	58	84
	営業外収益 (e)	66	52	49
	営業外費用 (f)	57	58	52
	経常利益 (g=d+e-f)	21	52	81
特別損益	特別利益 (h)	16	13	5
	特別損失 (i)	—	—	—
当期利益 (j=g+h-i)		37	65	86



出資法人の状況

- 県が25%以上出資する公社・事業団等については、解散を含め、そのあり方の見直し等を行った結果、平成20年4月1日現在34団体であったものが、平成30年4月1日現在24団体に減少

主な法人の経営状況（出資金・出えん金が5億円以上など）

法人名	県出資等 (千円)		当期損益 (千円)		純資産又は 正味財産 (千円)
	県出資額	比 率	H28年度	H29年度	
(公財) 群馬県産業支援機構	613,050	80.3%	▲319,335	12,625	1,082,018
(公財) 群馬県観光物産国際協会	864,000	88.7%	▲7,846	▲13,330	1,175,236
(公財) 群馬県蚕糸振興協会	662,500	53.9%	▲9,443	▲6,002	1,238,250
(一財) 群馬県森林・緑整備基金	580,000	100.0%	20,895	19,930	1,607,457
(公財) 尾瀬保護財団	545,329	35.1%	4,363	5,283	1,669,881
(公財) 群馬県暴力追放運動推進センター	512,275	82.1%	▲1,142	▲1,766	652,560
(公財) 群馬県スポーツ協会	502,700	68.7%	3,506	▲13,647	1,083,590

Section 5.

市場公募債発行計画



ググっとぐんま観光 キャンペーンポスター

- ぐんま県境稜線トレイル
- 草津温泉（湯畑）
- バンジージャンプ
- 桐生八木節まつり
- 碓氷第三橋梁





平成30年度市場公募債発行計画

平成30年度市場公募債発行計画

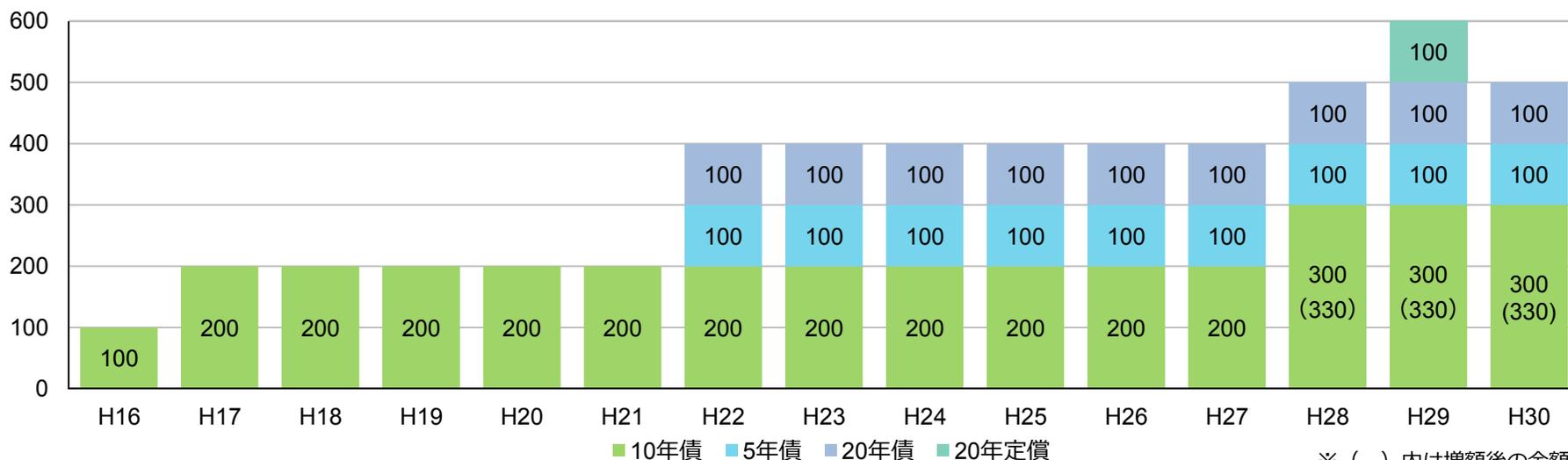
(億円)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年債								100					100
10年債					100 (130)			200					300 (330)
20年債			100										100
合計			100		100 (130)			300					500 (530)

※ () 内は増額後の金額

市場公募債発行額の推移

(億円)



※ () 内は増額後の金額





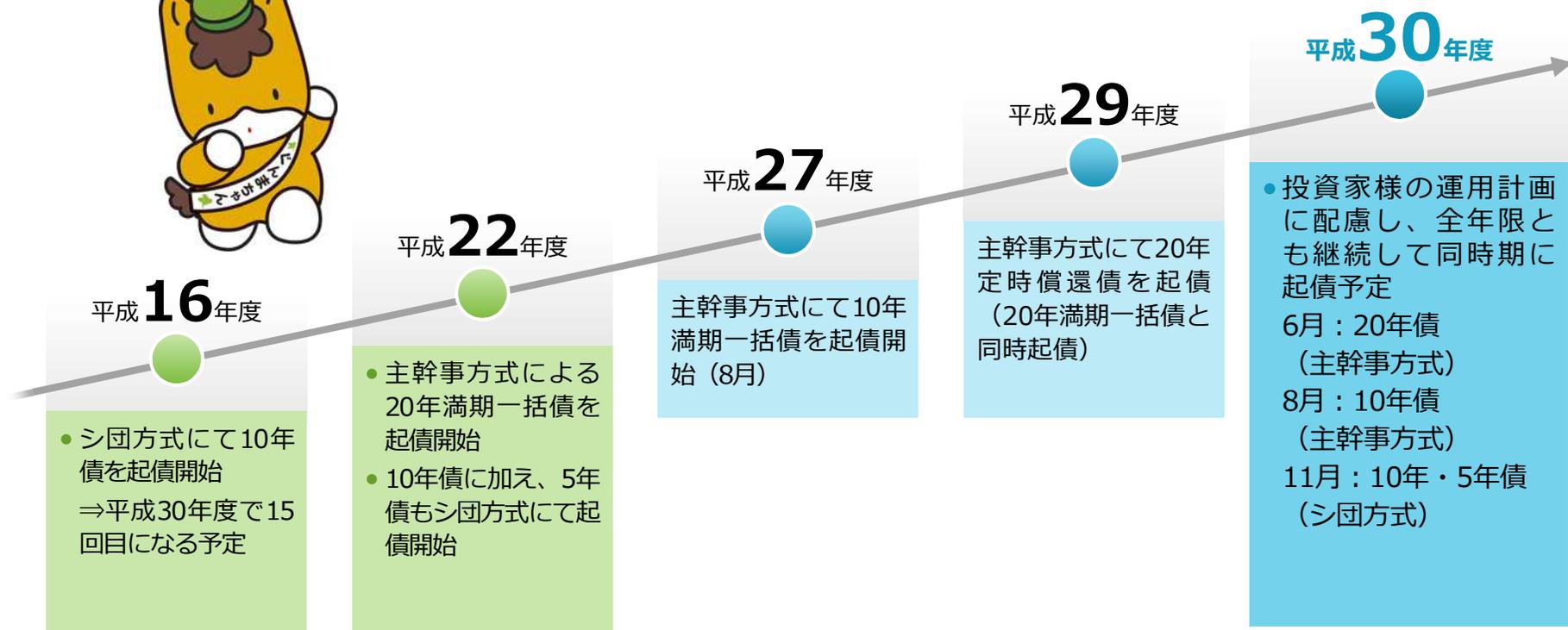
群馬県の起債運営について

- 幅広い投資家の皆様に群馬県債を安心して購入いただくため、主幹事方式での起債を重視しております

主幹事方式による起債のコンセプト

- ◆ 低金利環境が長期化する中、投資家の皆様の利回り確保のニーズに応えるため、超長期債として20年満期一括債の発行を継続
- ※ 平成29年度は、調達額が例年に比べ増加したため、足許需要が拡大している20年定時償還債も発行

- ◆ また、10年満期一括債について、大口投資家の皆様のロット確保ニーズに応えられるよう、シ団方式に加え、主幹事方式でも起債
- ◆ 需要に応じて発行額の増額も検討





お問い合わせ先

本件に関するお問い合わせ先

群馬県総務部財政課県債係

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

TEL	027-226-2096
FAX	027-224-9123
e-mail	marketbond@pref.gunma.lg.jp
HPアドレス	http://www.pref.gunma.jp/

- 本資料は投資家向けに情報提供するものであり、投資に関する売買等の取引を提案、勧誘、助言するものではありません。
- 本資料に掲載している情報は、修正される場合があります。
- 本資料内のデータは、信頼できるとされる各種データに基づき作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。